

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成21年10月15日(2009.10.15)

【公開番号】特開2008-156572(P2008-156572A)
 【公開日】平成20年7月10日(2008.7.10)
 【年通号数】公開・登録公報2008-027
 【出願番号】特願2006-350044(P2006-350044)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)
 C 0 8 K 5/01 (2006.01)
 C 0 8 K 5/1515 (2006.01)
 C 0 8 L 75/04 (2006.01)
 C 0 8 L 83/04 (2006.01)
 C 0 9 K 3/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00
 C 0 8 K 5/01
 C 0 8 K 5/1515
 C 0 8 L 75/04
 C 0 8 L 83/04
 C 0 9 K 3/10 D
 C 0 9 K 3/10 G

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月1日(2009.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の樹脂用可塑剤に用いられる一般式(I)、(II)、(III)および(IV)で表される化合物において、nは0~30の整数であるが、nが0~20の整数であることが好ましい。

一般式(I)で表される化合物としては、3-メチレンヘプタン、5-メチレンウンデカン、7-メチレンペンタデカン、9-メチレンノナデカン、11-メチレントリコサン、13-メチレンヘプタコサン、15-メチレンヘントリアコンタン、17-メチレンペンタトリアコンタンなどが挙げられる。

また、一般式(II)で表される化合物としては、3-メチルヘプタン、5-メチルウンデカン、7-メチルペンタデカン、9-メチルノナデカン、11-メチルトリコサン、13-メチルヘプタコサン、15-メチルヘントリアコンタン、17-メチルペンタトリアコンタンなどが挙げられる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

一般式(III)で表される化合物としては、2-ブチル-2-エチルオキシラン、2-

ブチル - 2 - ヘキシルオキシラン、2 - ヘキシル - 2 - オクチルオキシラン、2 - デシル - 2 - オクチルオキシラン、2 - デシル - 2 - ドデシルオキシラン、2 - ドデシル - 2 - テトラデシルオキシラン、2 - ヘキサデシル - 2 - テトラデシルオキシラン、2 - ヘキサデシル - 2 - オクタデシルオキシランなどが挙げられる。

一般式 (IV) で表される化合物としては、5, 7 - ジエチル - 5 - メチルウンデカン、7, 9 - ジブチル - 7 - メチルペンタデカン、9, 11 - ジヘキシル - 9 - メチルノナデカン、11 - メチル - 11, 13 - ジオクチルトリコサン、13, 15 - ジデシル - 13 - メチルヘプタコサン、15, 17 - ジドデシル - 15 - メチルヘントリアコンタン、17 - メチル - 17, 19 - ジテトラデシルペンタトリアコンタン、19, 21 - ジヘキサデシル - 19 - メチルノナトリアコンタンなどが挙げられる。

【**手続補正 3**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0026

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0026】

樹脂組成物がシリコーン系シーラントの場合、主成分のシリコーン系ポリマーはケイ素に結合している2つ以上のヒドロキシル基又は加水分解性基を有する重合体物質である。このシリコーン系ポリマー主鎖は、シロキサン分子鎖であり、例えばポリオキシアルキレン鎖である。主成分のシリコーン系ポリマーとして、ポリオルガノシロキサンが好ましい。

このポリオルガノシロキサンは、次のシロキサン単位を有する化合物である。



(式中、Rは、炭素原子を1～6個有する炭化水素基、例えばメチル、ビニル、フェニル基、若しくは、フッ素化されたアルキル基を表し、sは、0、1又は2の値を有する。)

ポリオルガノシロキサンとして好ましい物質は、直鎖状の物質、即ち全ての単位においてs = 2の物質である。この好ましい物質は、一般式 - (R₂SiO)_n - による、ポリジオルガノシロキサン鎖を有している。

【**手続補正 4**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0034

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0034】

実施例 1 (シーリング用樹脂組成物 A - 1)

以下の樹脂、充填材、可塑剤および増粘剤等をハイブリッドミキサーにより混練し、シーリング用樹脂組成物 A - 1 を得た。物性評価結果を第 1 表に示す。

変成シリコーン樹脂 (旭硝子ウレタン社製エクセスター S - 2420)

100 質量部

充填材 (膠質炭酸カルシウム)

75 質量部

充填材 (重質炭酸カルシウム)

75 質量部

可塑剤 (9 - メチレンノナデカン)

40 質量部

増粘剤 (楠本化成製ディスパロン 6500)

1 質量部

紫外線吸収剤 (チバスペシャリティケミカルズ製 TINUVIN 327)

1 質量部

酸化防止剤 (チバスペシャリティケミカルズ製 IRGANOX 1010)

1 質量部

接着性付与剤 (信越化学製 KBM - 403)

1 質量部

接着性付与剤 (信越化学製 KBM - 603)

1 質量部

硬化触媒 (日本化学産業社製エクセスター C10)

1 質量部